横浜天声キリスト教会　週報　第18巻31号（No.703）　2023年7月30日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　エペソ1:17-19 ・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・29番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・175番　みたまよわれ歌う時
礼拝のための祈り　・・・・・・・成田エクレシア：朴 執事　天声：小林伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・98番　わがとも主イエスは
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・どのような霊に所有されているのか気をつけなさい(ルカ9:51-56)
御言葉を適用する祈り　・・　会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・484番　こころにもだえあらば
幸せと成功の宣言文・・・・　会衆一同
献金感謝の祈り　・・・・・・・・　パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。生るるに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり、殺すに時があり、いやすに時があり、こわすに時があり、建てるに時があり、泣くに時があり、笑うに時があり、悲しむに時があり、踊るに時があり、石を投げるに時があり、石を集めるに時があり、抱くに時があり、抱くことをやめるに時があり、捜すに時があり、失うに時があり、保つに時があり、捨てるに時があり、裂くに時があり、縫うに時があり、黙るに時があり、語るに時があり、愛するに時があり、憎むに時があり、戦うに時があり、和らぐに時がある。（伝道者の書3:1−8）

どうか、____の主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊を____に賜わって神を認めさせ、____の心の目を明らかにして下さるように、そして、____が神に召されていだいている望みがどんなものであるか、____がつぐべき神の国がいかに栄光に富んだものであるか、また、神の力強い活動によって働く力が、わたしたち信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、____が知るに至るように、と祈っている。（エペソ1:17−19）

メッセージ概要

私達は、見誤ってしまう事がよくある。怒ってはならない人・物・事に、怒りの火を降してしまったり、あるいは許してはならない人・物・事を許してしまったり。今回の箇所では、イエス様がサマリヤに直々に来られた、というのに、人々が受け入れなかったので、ヤコブとヨハネはイエス様に言った。「*主よ、あなたは私達が、エリヤがしたように天から火を下して彼らを焼き滅ぼすように言う事を、願っておられますか？*」(54節直訳)

焼き滅ぼすとは尋常でないが、サマリヤの人は別に、主の御名を汚したわけでも、暴力を振るったわけでもない。イエス様は御顔をエルサレムに向けて進んでおられたので、サマリヤ人はイエス様を受け入れなかった、だけだったのだ。

弟子達は果たして、イエス様と一緒に歩いているのは、滅ぼすためだろうか。それとも、救うためだろうか。むろん、救うためである。しかし、私達も、このような事を犯してしまいがちである。想像の中では、自分が働くと、そこに大きな悔い改めとリバイバルが起きる、と夢想しつつ、いざ働いてみると、自分の思い 通りには行かなかった、というような時、自分は何のためにイエス様と共に歩んでいるのかが、どこかにポーンと飛んでしまって、「火を降しましょうか」と言ってしまう。これは、働きの現場のみならず、兄妹姉妹や家族の間でも起こりうる。しかし、破壊や、傷つけたい、という衝動に駆られて、破壊的な言葉を発するのは、主の御旨ではない。ヤコブとヨハネはイエス様から戒められたが、私達は本来、どうあるべきなのだろうか。

『*しかし彼は振り返って彼らを叱って言われた、「あなたは自分たちが**どのような霊の所有(属格)にあるのか**、分かっていない。というのは人の子が来たのは、人の魂（思い、意志、感情）を滅ぼすためでなく、救うために来たのだから。*』(55-56節直訳)　大事なのは**自分がどのような霊に所有されているのか**、であり、それがわからないと怒りに任せ、人の思い・意志・感情を破壊してしまい、主の救いの意図に逆行してしまう。

肉に駆られる時、自分の怒り、悲しみ、そねみ、憤り、そういった肉から来る負の感覚が、あたかも天からの感覚であるかのように思ってしまう。御言葉は教える。人の怒りは神の義を実現しない、と(ヤコブ1:20)。

ヤコブとヨハネは勘違いした。この怒りは正当だ、イエス様もきっと彼らを火で焼きを滅ぼす事を願っておられるのでは、と。しかしイエス様は戒められた。　御霊の思いは、人を焼き滅ぼす事ではなく、いのちと平安であり（ローマ8:5）、滅ぼしたい、壊したいといった「死」に至らせる思いは、肉からのものである。

私達は、正論で論破したり、正義を盾に相手をねじふせる事を、正しいと信じて疑わない時が多いが、イエス様はそのような事は、されなかった。
イエス様はいつでも、相手が未熟で弱く感情を持った人である事を知っておられ、相手を建てあげるようにと、その人の状況に従って言動された。御霊において判断していたからだ。
だからイエス様の元で、弟子たちは育ち、ボアネルゲ（雷の子）と呼ばれていたヨハネも、愛の人になった。

サマリヤの町も、この時点ではイエス様を受け入れなかったが、しかしイエス様の十字架と復活の後、使徒たちによって、ユダヤ、サマリヤ、全世界へと福音が宣べ伝えられ、受け入れる人たちが起こされた。

自分の霊が今、どこに属しているのか。それを気をつけていないなら、いとも簡単に見誤ってしまう。叱責ではなく養いが必要な人に、怒りの火を下してしまったり。許してはならない人、物、事を、許してしまったり。

許してはならないものが確かに存在し、滅ぼし尽くさなければならないものも、確かにある。それは「人」ではなく、「罪」であり、サタンや悪霊、また、全ていのちを阻害するもの、聖なるお方を侮辱するものである。

パウロは、コリントの聖徒が、不品行な者を、悔い改めさせもせず、変わらず交わりを容認している事を、「高ぶっている」と指摘し、そしてその者を、主イエスの権威によってサタンに引き渡した(1コリント5章)。
それは、彼の「肉」が滅ぼされるためであり、それによって彼の「霊」が救われるためである(同5節)。

こうした識別力は、御言葉の知識によって、あるいは、「霊」によって得る事ができる。だから、知恵と啓示の霊が与えられるよう、切に祈り求め(エペソ1:17)、そして御言葉の知識を蓄えるべきなのだ。

霊における識別を得て、養うべき相手には愛をもって養い、踏みにじるべき悪魔サタンに対しては、主イエスの御名によって踏みにじり、勝利し、いのちを豊かに養って神の国を広げていく私達でありますように。
イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	礼拝 11:30
English Service	14:30

日々の集会

月～金　早天祈祷会	5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会	13:00～
火～木　夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会　19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 31 号　　2023 年 7 月 30 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp